

第26回 **一関国際** 2007 **9/23** SUN **AM9:50 START!** 雨天決行

ハーフマラソン大会

マラソンコース図 回案内図

9月23日は午前9時30分から正午までマラソンコース内は進入・通行ができません

***規制区域内付近では、警察官、交通指導隊、防犯隊などの指示および回路案内板に従うよう協力願います。**

***バスの運行経路が多少変更されますので注意願います。**

- 競技会** 9月23日(日)
- 【スタート】
- ハーフマラソンの部 9:50(市役所前)
 - 10kmの部 10:00(市役所前)
 - 5kmの部 10:05(市役所前)
- コース**
- 【ハーフマラソンの部】 18歳以上の男子・女子
市役所前スタート→地主町→広街→大町→五十人町→武道館前→舞台折り返し→武道館前→五十人町→地主町→堤防左岸側→石畑→上坊→町浦→山目町→新町→平泉町三日町折り返し→新町→山目町→町浦→上坊→石畑→堤防左岸側→市役所前ゴール
- 【10kmの部】 18歳以上の男子・女子
市役所前スタート→地主町→広街→大町→五十人町→武道館前→舞台折り返し→武道館前→五十人町→地主町→市役所前ゴール
- 【5kmの部】 50歳以上の男子・40歳以上の女子
市役所前スタート→地主町→五十人町→武道館前→三関折り返し→武道館前→五十人町→地主町→市役所前ゴール

招待選手の寺内多恵子選手(元資生堂)や木庭啓選手(エスピー食品)、一関学院高校出身の藤井輝選手(駒沢大学)や加藤翔太選手(城西大学)、メクボ・J・モグス選手(山梨学院大学)などを含む約1500人のランナーが参加します。

◎問い合わせ先
マラソン大会事務局
☎26-2273
大会当日の大会本部
☎26-7311

長寿を祝福

100歳おめでとうございます

千葉ヒサシさん(花泉)

花泉町老松の千葉ヒサシさん
自宅で元気に誕生日を迎えたヒサシさん(前列中央)

千厩町清田の宍戸みさをさんは8月27日、自宅で満100歳の誕生日を迎えました。同居する長女のツトムさん(79)のほか、子、孫、ひ孫ら13人の親族がみさをさんを囲み、長寿を祝いました。駆けつけた菊地地域自治区長は「おめでとございます」と祝状、花束などを贈りました。みさをさんは現在寝たきりの状態ですが、以前は野菜や花づくりが好きだったそうです。娘9人が健在で、「母が丈夫に育て

は9月1日、自宅で満100歳の誕生日を迎え、子、孫、ひ孫など駆けつけた親族がヒサシさんを囲み長寿を祝いました。田野崎地域自治区長から、「これからもお元気で」と祝状と花束が贈られ、ヒサシさんは「ありがとうございます。いつの間にか100歳になってしまいました」と、しつかりとした口調で応えていました。

現在長女、二女夫婦と4人で暮らすヒサシさんは「ひ孫たちが来て一緒に遊ぶのが楽しみ」と目を細めていました。

大勢の親族に囲まれ誕生日を迎えたみさをさん

てくれたおかげ。毎年母を囲み姉妹会をしています」と話すツトムさんです。

千厩クラブ

壮年ソフトボールで全国へ

8回目の県代表の座を手にしたチームの皆さん

佐賀県総合運動場水泳場で行われた全国高校総体の競泳に、一関一高水泳部から東北大会を勝ち抜いた女子2人が出場しました。小林あゆみさん(1年)は100メートルバタフライ・200メートル、及川里奈さん(同)は50メートル自由形・100メートル同に出場。及川さんは100メートル自由形で見事7位入賞を果たしました。

昨年の国体でも4位に入賞した及川さんは初めてのインターハイで緊張したが、決勝に残れたことはいい経験になった。次は国体での表彰台が目標と力強く抱負を語り、小林さんは

高校総体

一高水泳部から2人が出場

「インターハイの舞台で久しぶりに自分のベストと思える泳ぎができた。全国大会に出るだけでなく、上位レベルで戦える選手になりたい」と今後の意気込みを話してくれました。

2人は8月27日から4日間、東京都で行われた第30回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳大会に出場したほか、9月から10月にかけて秋田県で行われる秋田わか杉国体にも出場します。

菊地秀明監督は「別の大会を含めると10回目の全国出場。2回戦では昨年の日本のチームと当たるが、相手に一泡吹かせるような試合をしたい。チーム一丸となって『一関千厩』ここにあり『全国に広めてきたい』と力強く抱負を述べました。坂本副市長は「県大会での大差の快勝は見事。全国大会では楽しみながら実力を発揮してほしい」と激励しました。

同クラブは設立12年目。今回を含め、県壮年ソフトボール大会で優勝8回を誇る強豪チームです。

小林あゆみさん(左)と及川里奈さん